

名張地域における「まちづくり協議会」との 里山保全人材育成講座の開講

〒518-0762
三重県名張市上三谷268番地1
電話:0595-64-0051
E-mail:office@akame-satoyama.org
https://www.akame-satoyama.org/



ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発



里山の大切さを学ぶ貴重な場(自治会役員)

里山人材育成講座延べ参加者

250人

実践講座で保全された里山

6.5ha

今年度計画の達成度

70%

活動の全体目標に対する達成度

70%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

地域の里山が個人所有となっているため、実地で学ぶ場所の選定が難しかった。人の行き交う景観保全がベストであったが、公益性の観点から神社・寺・公園エリアとなった。

■ 工夫した点

自治会役員との信頼関係を築くために幾度となく足を運んだ。環境保全に取り組んでいる「まち協」と協働するために、課題のすり合わせを行い、協働事業に結びつけた。

課題

名張地域では、組織的な里山保全が行われておらず、伊賀地域周辺まで南下している「ナラ枯れ」を食い止め、健全な里山環境を保全することが急務となっている。

目標

名張地域の里山の保全を目的として、地域の景観を守り生物の多様性を図るために、「まちづくり協議会(以下まち協)」と一緒に頑張って、里山保全の人材育成講座を開講する。

活動内容と成果

名張地域15地区において1年目は3地区(錦生・赤目・名張)、2年目は3地区(薦原・国津・錦生)、3年目は3地区(青蓮寺、比奈地、錦生)で里山人材育成講座(座学・実技)を開講した。講座には地域関係者を中心に延べ250名の参加があり、里山保全地域は延べ13か所(6.5ha)となった。また、里山シンポジウム(毎年開催)に150名以上の参加があり、有意義であったという感想が多く寄せられた。活動を通じて「まち協」と信頼関係を構築することができたので、今後も一緒に様々な協力・協働の関係を続けていきたい。



冬の里山保全 地元のひとと汗をかく青年たち

全助成期間の活動を振り返って

各「まち協」の里山環境保全に対する課題の認識や意欲などはさまざまであり、地域の里山を保全しようという動きは簡単には生まれてこない。そのため、事前調査を通して身近な自然を調べる、知るところを大切にしたい。この活動により自分たちの身近な自然の大切さ、地域の子供達への伝承などの課題に気付いてくれた地域があった。大きな成果はなかなか生まれないが、このような地道な動きが地域を変えるのだと思われる。



厳しかったこの冬でも、青年たちは元気!

今後の展望

「まち協」の不足している人材や情報などを提供することにより、里山環境保全に限らず、「福祉」、「防災」、「子どもの育成」などの分野にも結びつけながら、双方の可能性を高めていけるかもしれない。ほんの少しの元手を活かし、提案型で「まち協」と協働することは、NPOのさらなる可能性に挑むことになるかもしれない。里山でのさまざまなイベントを実施し、このような取組みを進めることが里山保全にもつながるのだと思う。